

令和3年度 高槻小学校学校通信

たかつき

学力特集号

令和3年11月22日
北九州市立高槻小学校

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語	長文読解に時間がかかり、書かれている細かな内容を読み取ることに課題がある。漢字を使って書き直すことに課題がある。下書きの文章の構成を読み取る問題は全国平均を上回っている。
算数	グラフから情報を読み取る力がついてきている。除法の計算の正答率が高まっている。速さや道のり、時間を求めたり、三角形や四角形の求積に課題がある。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
読書への興味関心が非常に高い。 地域行事への参加率も全国平均より高い。 学校での学習では、自らの考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものをつくり出したりする活動に積極的に取り組んでいる傾向にある。 土・日曜日や学校の授業以外に計画を立てて学習している割合は全国平均を下回っている。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

授業において、書く活動、話し合う活動により自分の考えをもち、主体的に学習に取り組ませるとともに、すららドリルやMIMの活用を推進して基礎・基本の定着を図る。

② 家庭生活習慣等に関する取組

家庭学習チャレンジハンドブックを今後も全校で活用を進め、家庭における学習習慣の形成に向けて取り組んでいく。生活習慣が安定している傾向が今後も維持できるように、学級指導や学校通信等を通じて、啓発に努める。